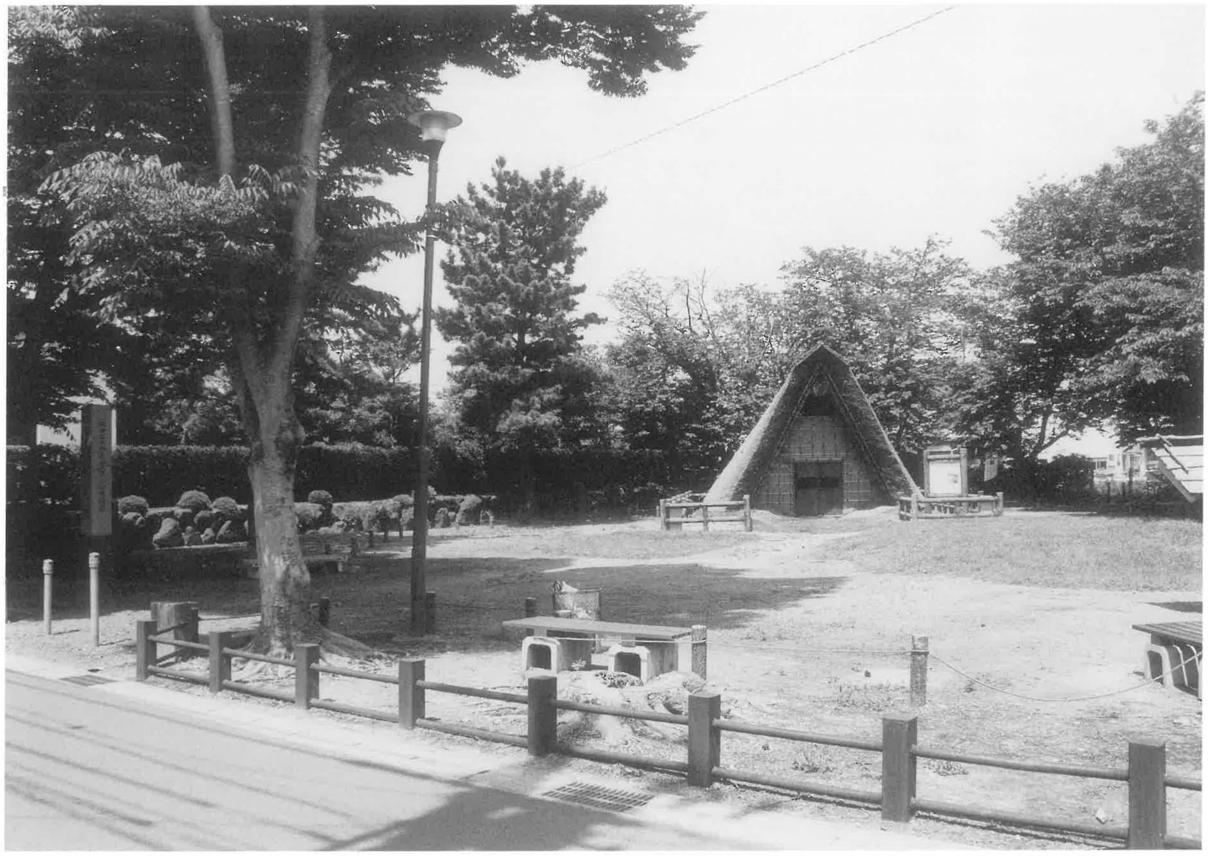
写 真 図 版



１、第２貝塚上の瓜郷遺跡公園（第１次・第５次調査地点）、手前の道路が第１トレンチ

２、江川と鹿菅橋（河底が第１次〜第４次調査地点）、堤防が第２・第３トレンチ

図版第２　調査地点の現状（２）

１、瓜郷橋と第１トレンチ設置地点（東方から）

２、鹿菅橋と第２トレンチ設置地点、マンホール付近が第１グリッド設置地点（西方から）

図版第３　調査地点の現状（３）

１、第２グリッド設置地点（マンホール部分）

２、鹿菅橋と第３トレンチ設置地点、マンホール付近が第３グリッド設置地点（西方から）

図版第４　調査地点の現状（４）

１、第４グリッド設置地点（マンホール付近）と鹿菅橋

２、第５グリッド設置地点（マンホール付近）

図版第５　第１トレンチ（１）

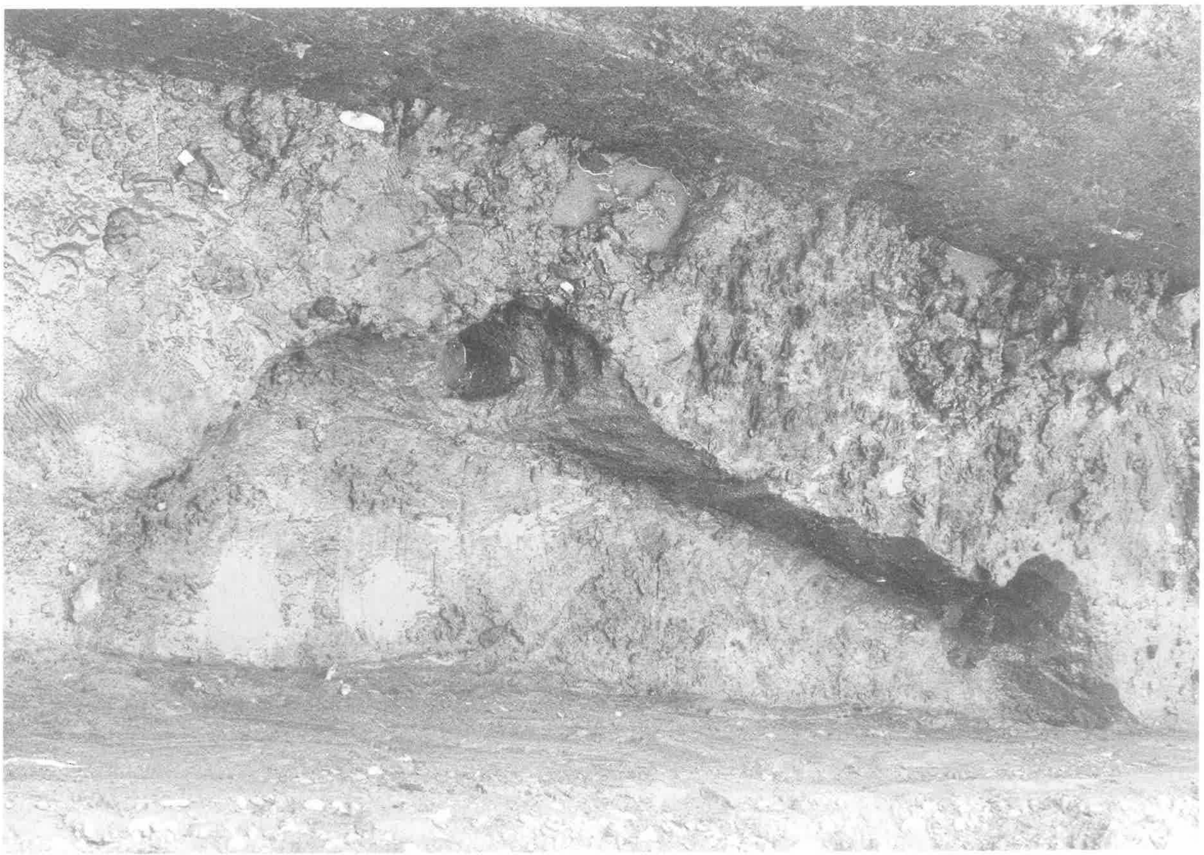
１、第１トレンチ発掘開始時の状況

２、第１トレンチと電柱の養生

図版第6　第1トレンチ（2）

1、トレンチ南壁の崩落状況

2、矢板を用いた崩落防止の支保工設置作業



1、140m付近に現れたＳＢ－150

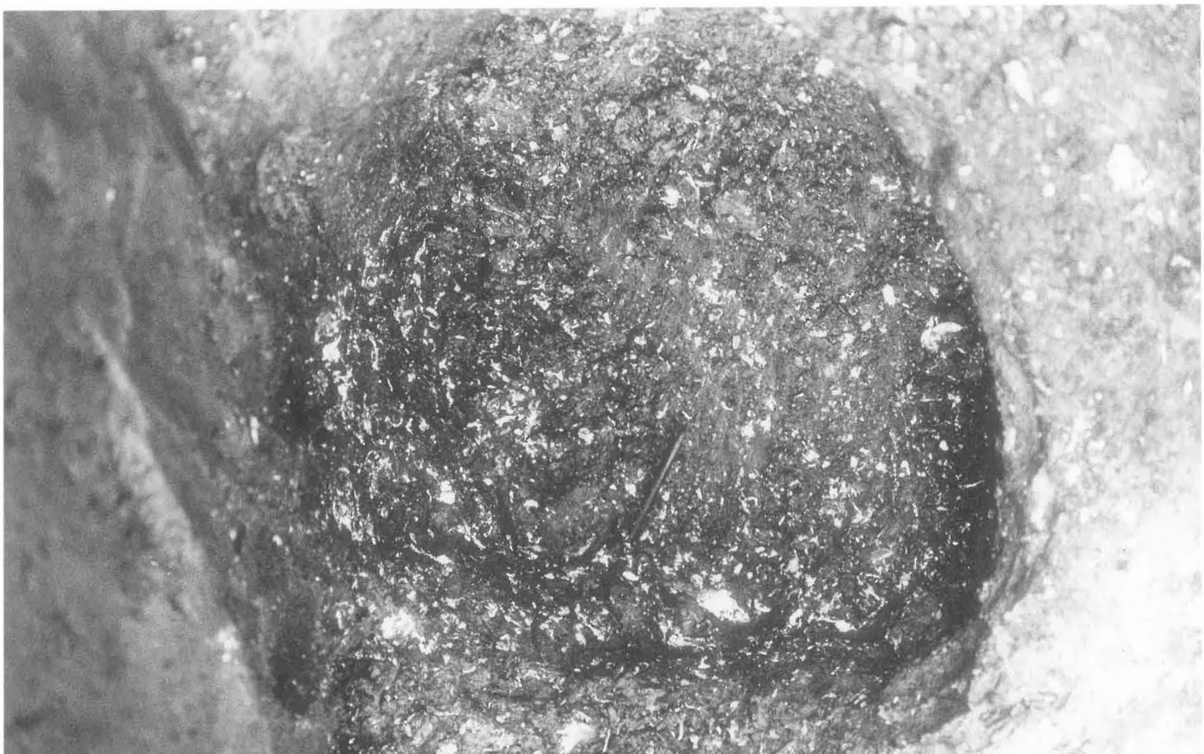
2、12m付近のＳＫ－8

図版第８　第１トレンチ（４）

１、16m付近のＳＫ－16

２、38m付近のＳＫ－19（左）とＳＫ－20（手前）

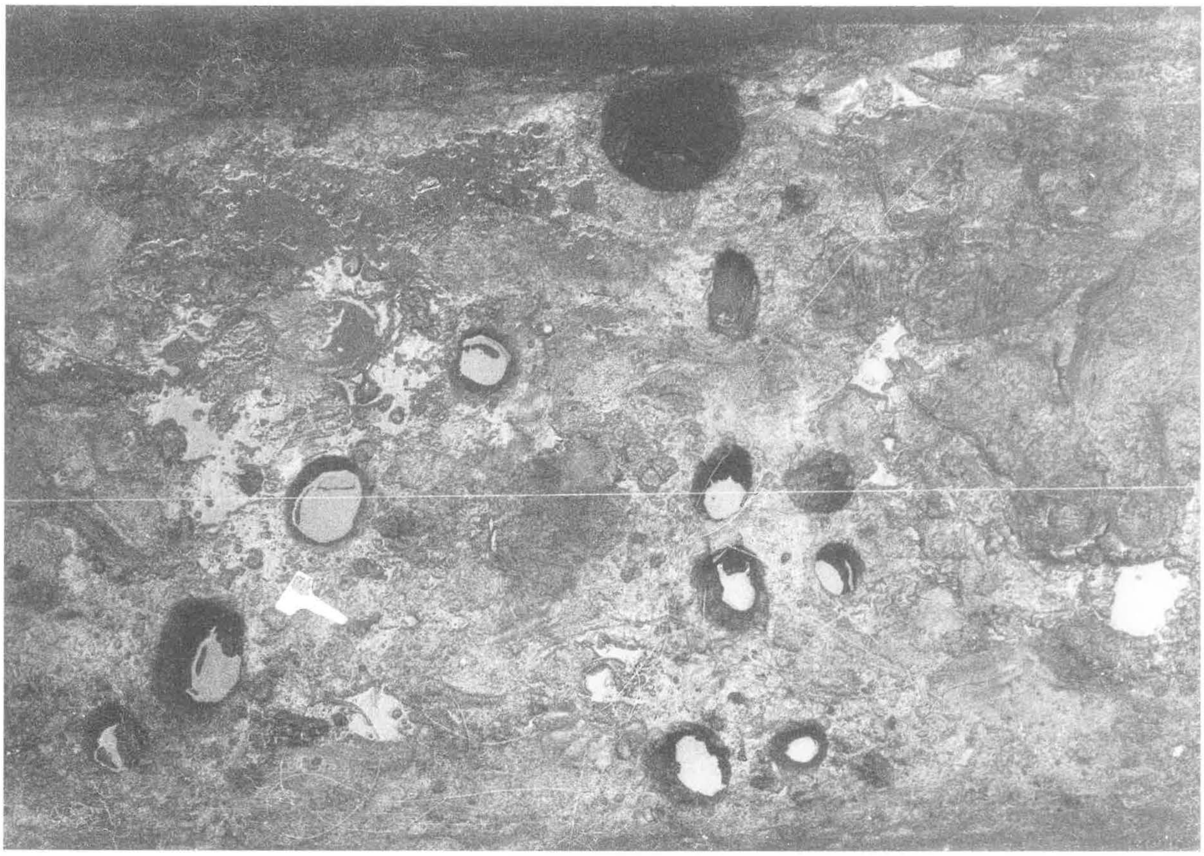
１、73m付近のＳＫ－66（左）とＳＫ－64（右）



２、破砕貝層が詰まっていた100m付近のＳＫ－85

図版第10　第１トレンチ（６）

１、135m付近のＳＫ－128



２、69m付近における柱穴状小ピットＳＰ－５群

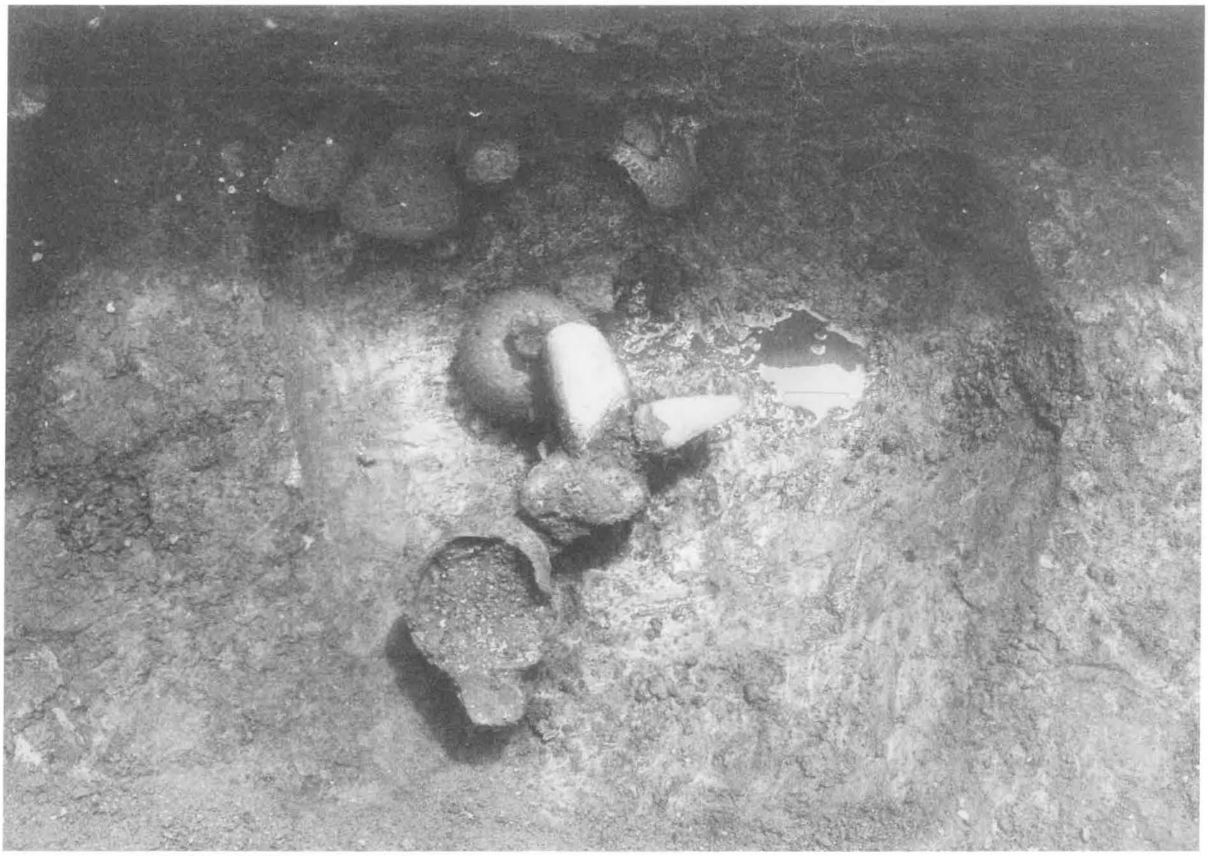
１、68m付近のＳＫ－56

２、ＳＫ－56における瓷器壺（１－121）の出土状態

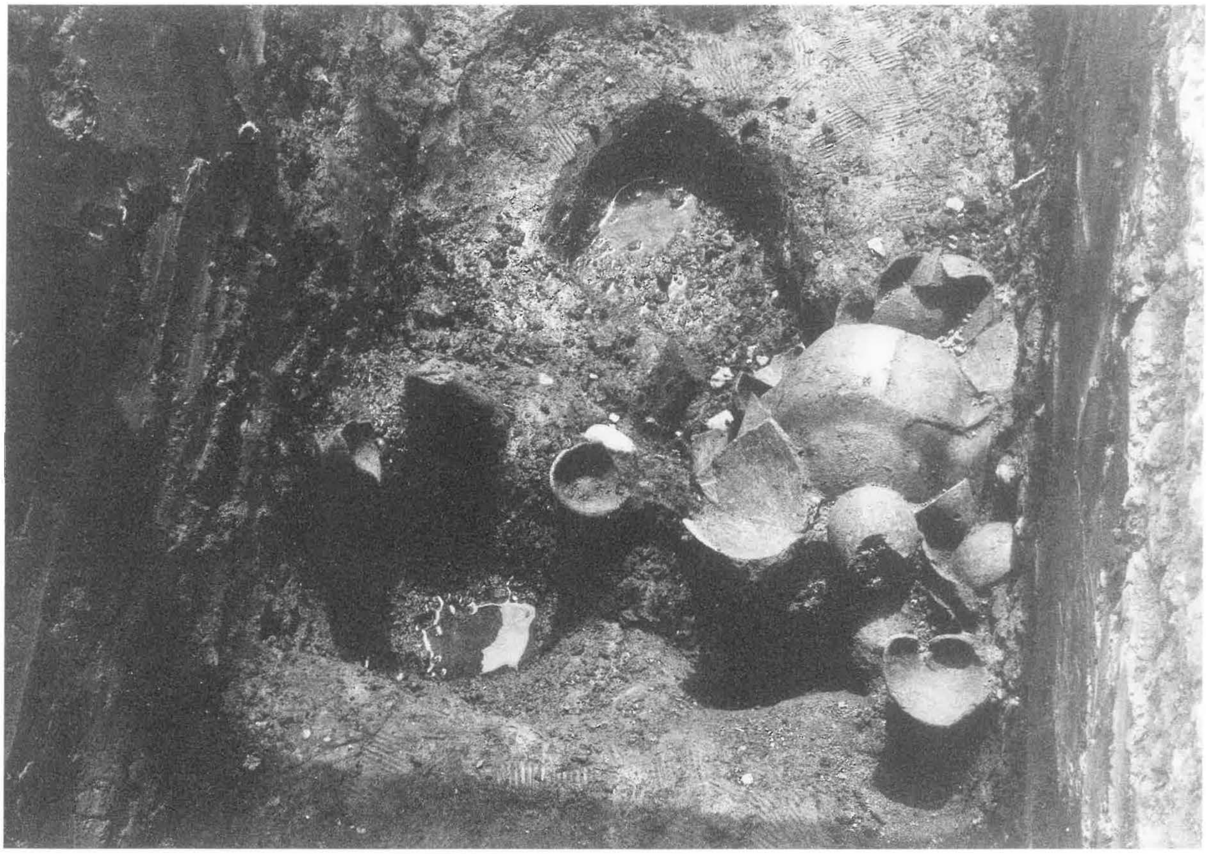
図版第12　第１トレンチ（８）

１、17m付近のＳＫ−11における壺（１−39）の出土状態

２、97m付近のＳＫ−82における壺（１−219）と石斧（17）と鼓石（28）の出土状態　１

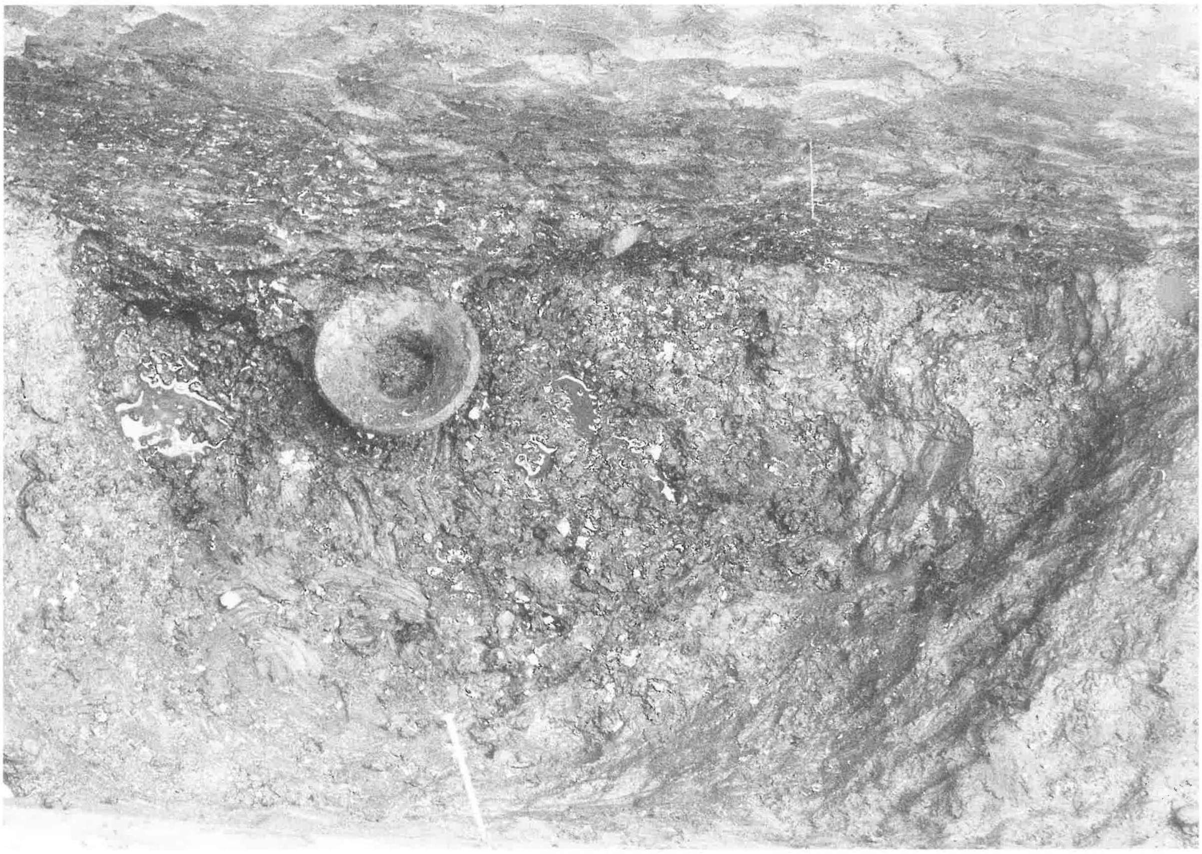


１、ＳＫ－82における土器と石斧（17）と鼓石（28）の出土状態　２



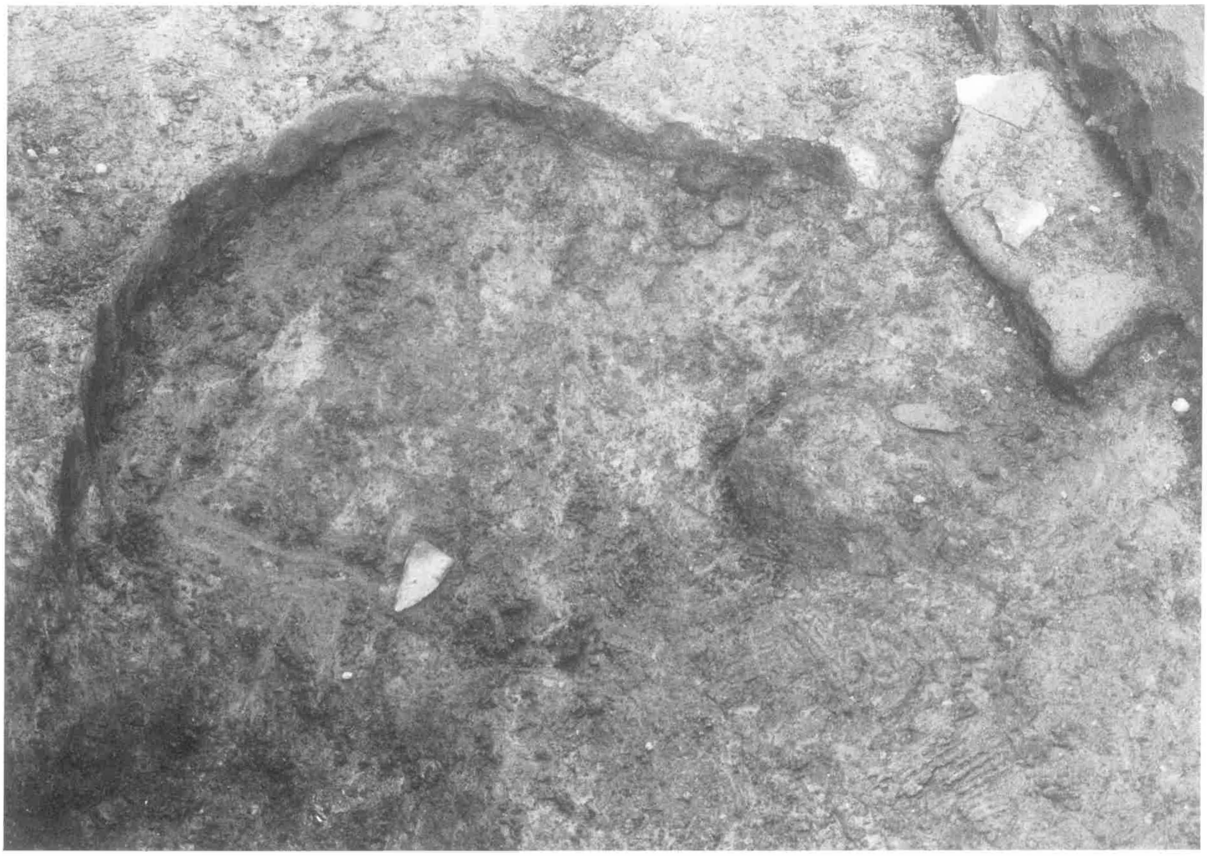
２、ＳＫ－82における土器の出土状態

図版第14　第１トレンチ（10）



1、112km付近のＳＫ－98における壺（１－269）の出土状態　1

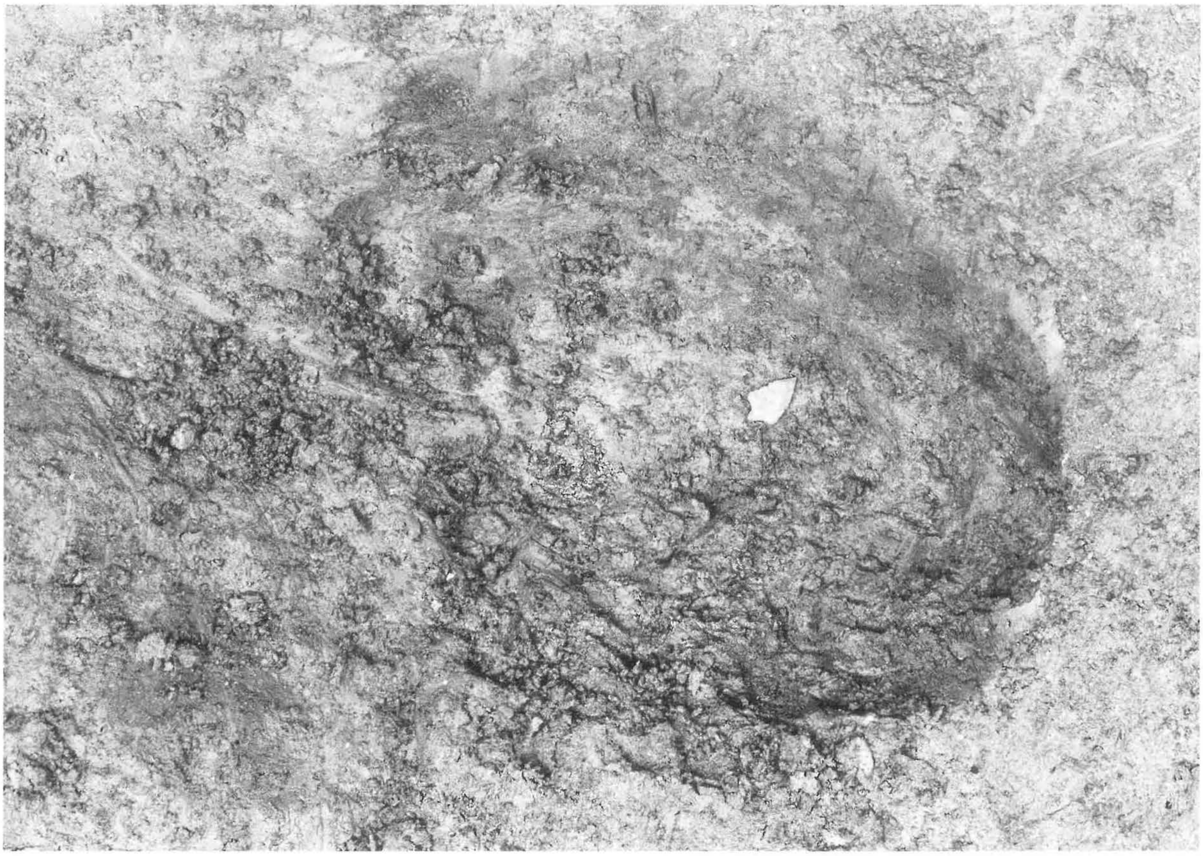
2、ＳＫ－98における壺（１－269）の出土状態　2



1、105m付近のＳＫ－99における石包丁（13）の出土状態　1

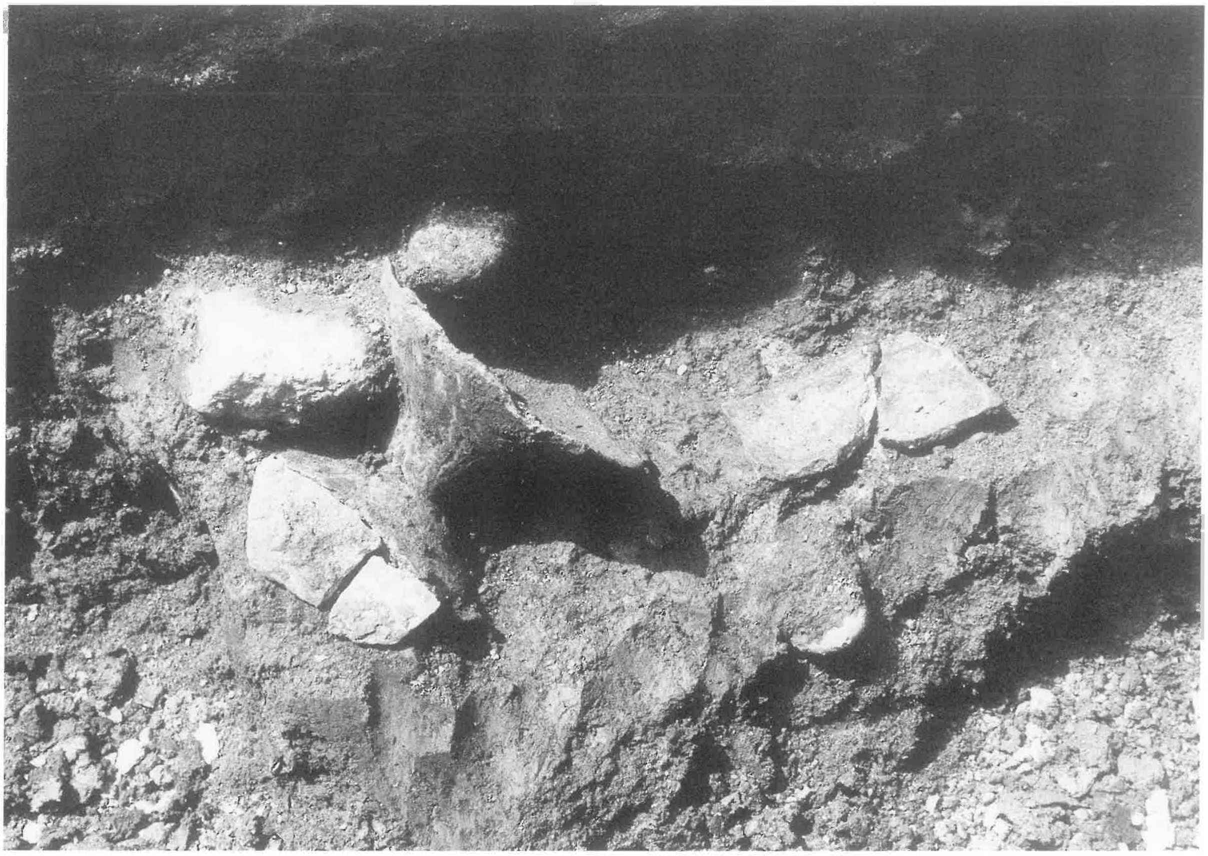
2、ＳＫ－99における石包丁（13）の出土状態　2

図版第16　第１トレンチ（12）



１、138m付近のＳＫ－138における石鏃（４）の出土状態　１

２、ＳＫ－138における石鏃（４）の出土状態　２

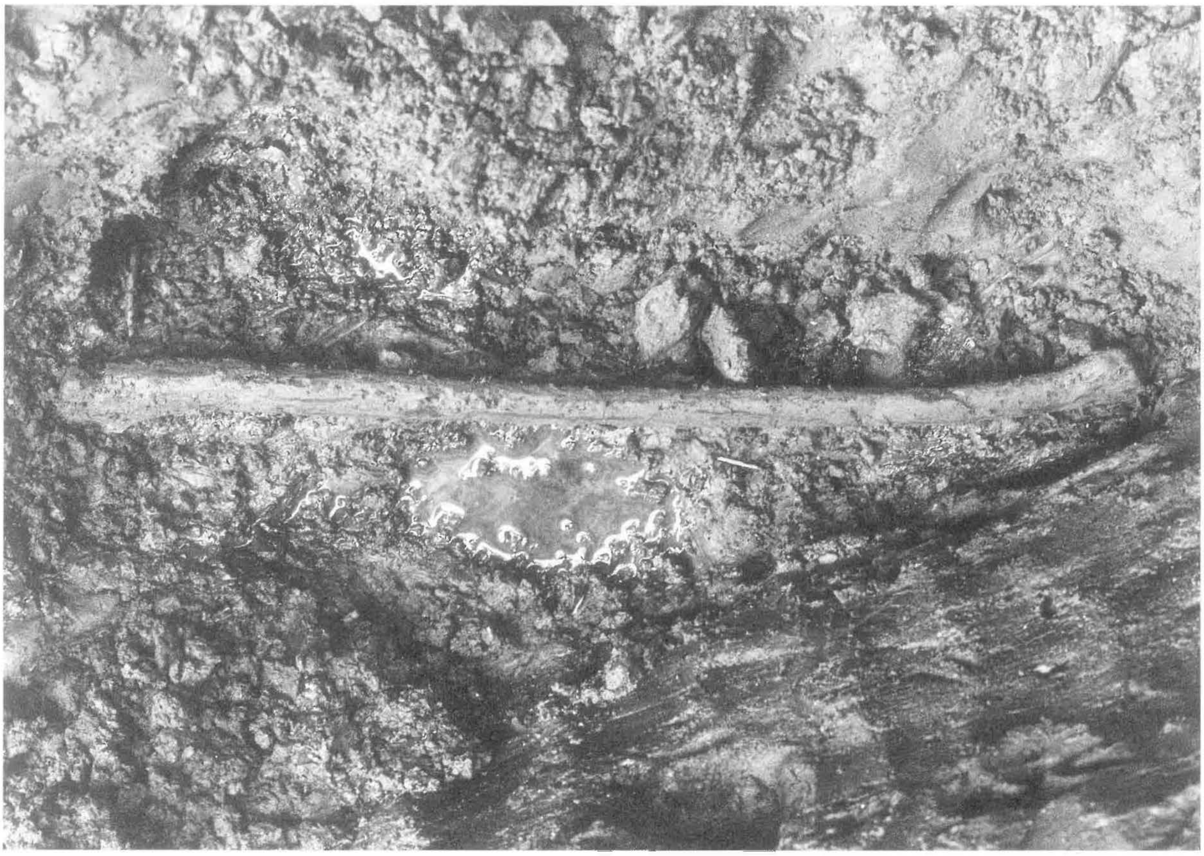


1、包含層における高杯（1－585）の出土状態

2、163m付近の包含層における曲物の出土状態

図版第18　第１トレンチ（14）

１、165m付近における木材の出土状態

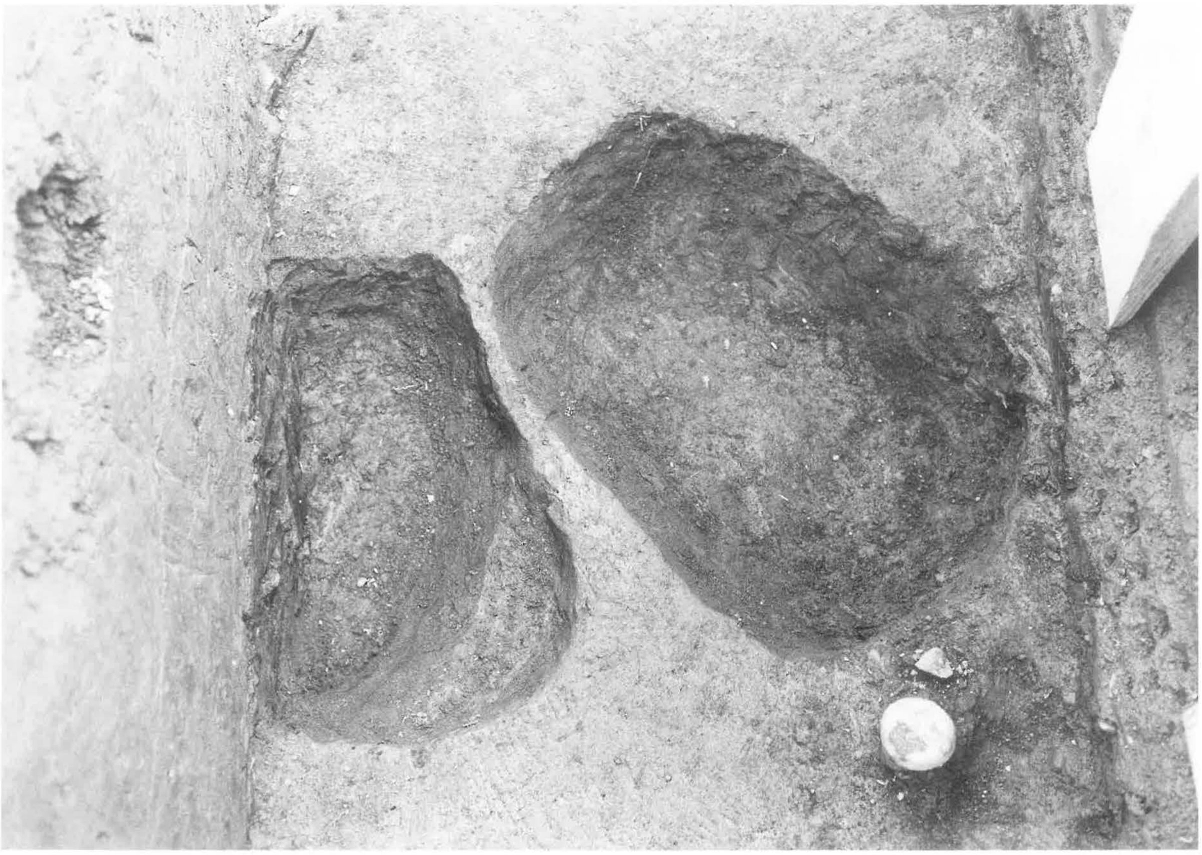


２、165.5m付近における木材の出土状態

1、129m付近の包含層における石鏃（５）の出土状態　1

2、石鏃（5）の出土状態　2

図版第20　第２トレンチ（１）



１、２次調査におけるＳＫ２ー18とＳＫ２ー19

２、ＳＫ２ー12・ＳＫ２ー13とＳＫ２ー14

1、ＳＫ２－16、ＳＫ２－15（左上）、ＳＫ２－17（右下）

2、ＳＫ２－20（上方）

図版第22　第２トレンチ（３）

１、１次調査。ＳＤ２ａ－２における土器の出土状態とＳＫ２ａ－３（上方）

２、１次調査における石鏃（1）の出土状態

1、2～3区における柱穴状小土壙群

2、ＳＫ３－14・ＳＫ３－15と柱穴状小土壙

図版第24　第3トレンチ（2）

1、ＳＫ３－14

2、ＳＫ３－１（右側）における石斧（18）の出土状態

1、8～10区における土器溜り　1

2、8～10区における土器溜り　2

図版第26　第3トレンチ（4）

1、8～10区における土器溜り　3

2、8～10区における土器溜り　4

1、ＳＫ３－13付近の土器溜り下部における３－234などの出土状況

2、９区と北拡張区における土器溜り

図版第28　第３トレンチ（６）

１、ＳＫ３－９におけるパレススタイル壺（３－35）の出土状態

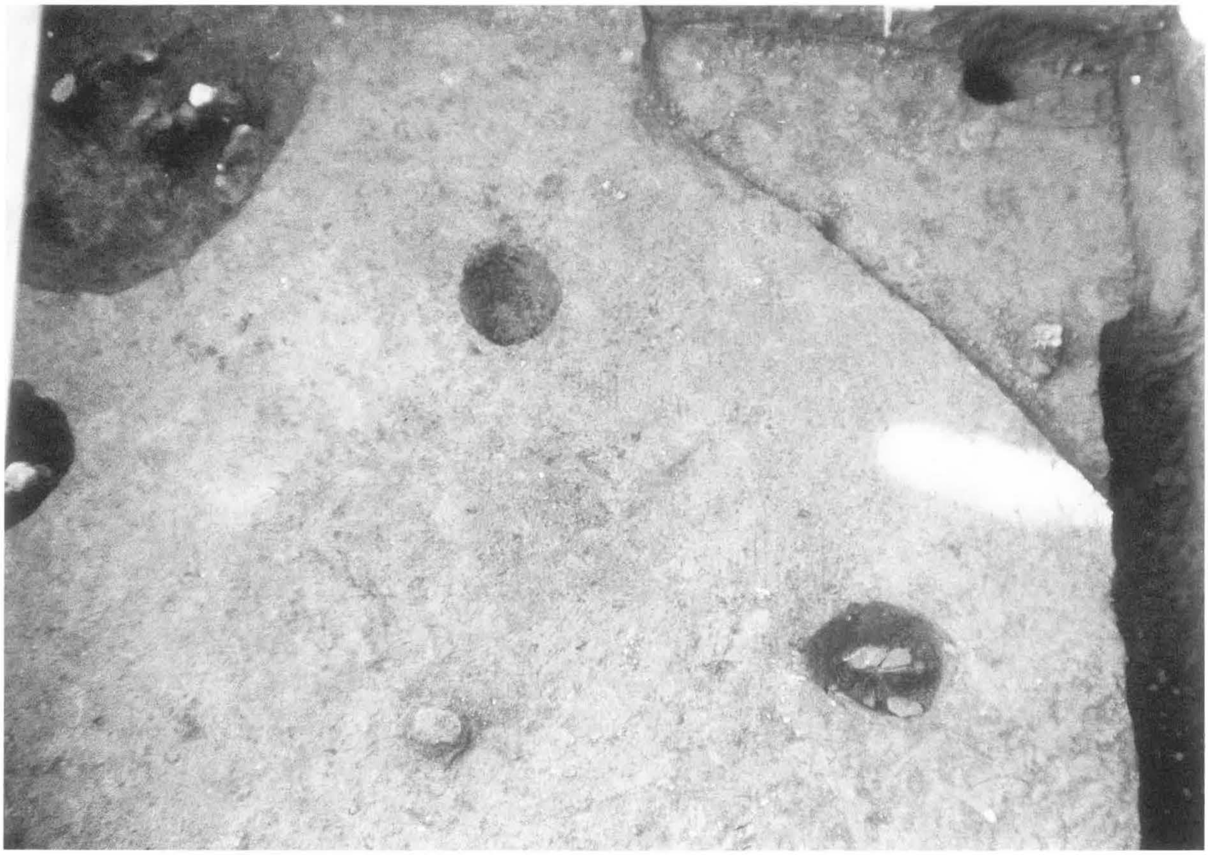
２、ＳＤ３－１における甕（３－101）と木材の出土状態

１、鉄製支保工に囲まれた第１グリッドの全景（東方から）

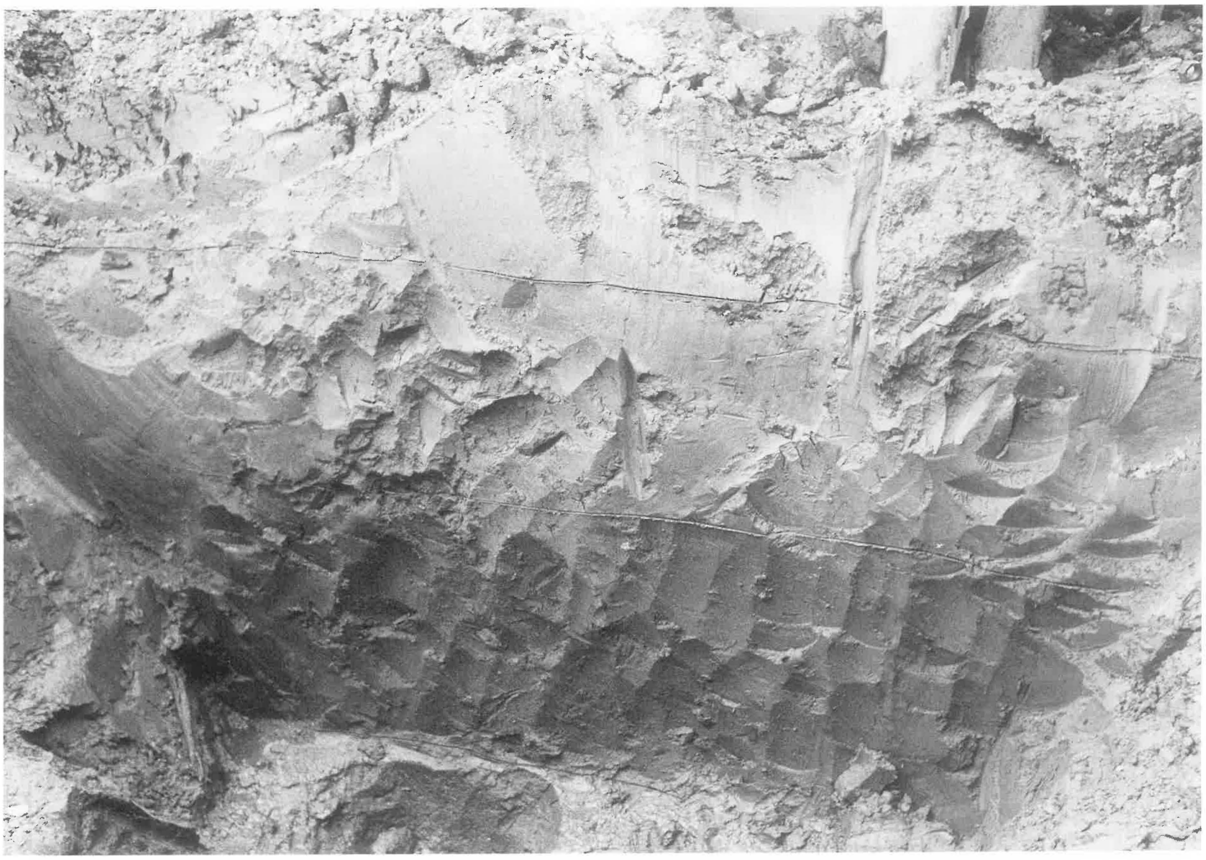
２、ＳＫ１Ｇ－１とＳＤ１Ｇ－７（右側）

図版第30　第1グリッド（2）

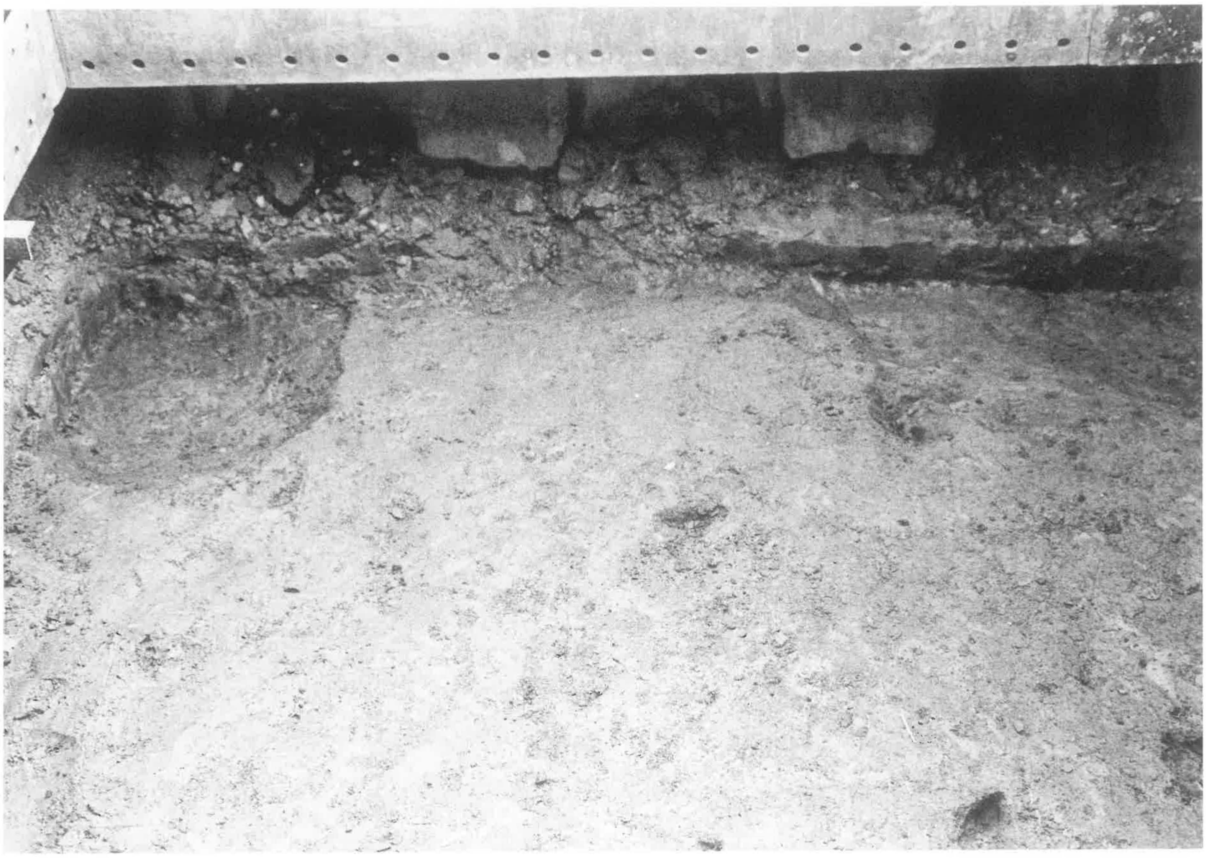
1、ＳＰ１Ｇ－２（中央）とＳＫ１Ｇ－１（右）・ＳＤ１Ｇ－７（上）



2、ＳＰ１Ｇ－２～４とＳＢ１Ｇ－５（右上）・ＳＫ１Ｇ－１（左上）



１、南壁Ｂ－Ｃ断面



２、ＳＢ２Ｇ－１（右側）とＳＫ２Ｇ－２（左上）

図版第32　第２グリッド（２）

１、ＳＫ２Ｇ－５

２、ＳＫ２Ｇ－５における木器（４）の出土状態

図版第33　第３グリッド（１）

１、重機による掘削

２、鉄製支保工に囲まれた第３グリッドの全景

図版第34　第３グリッド（２）

１、ＳＤ３Ｇ－５（西方から）１

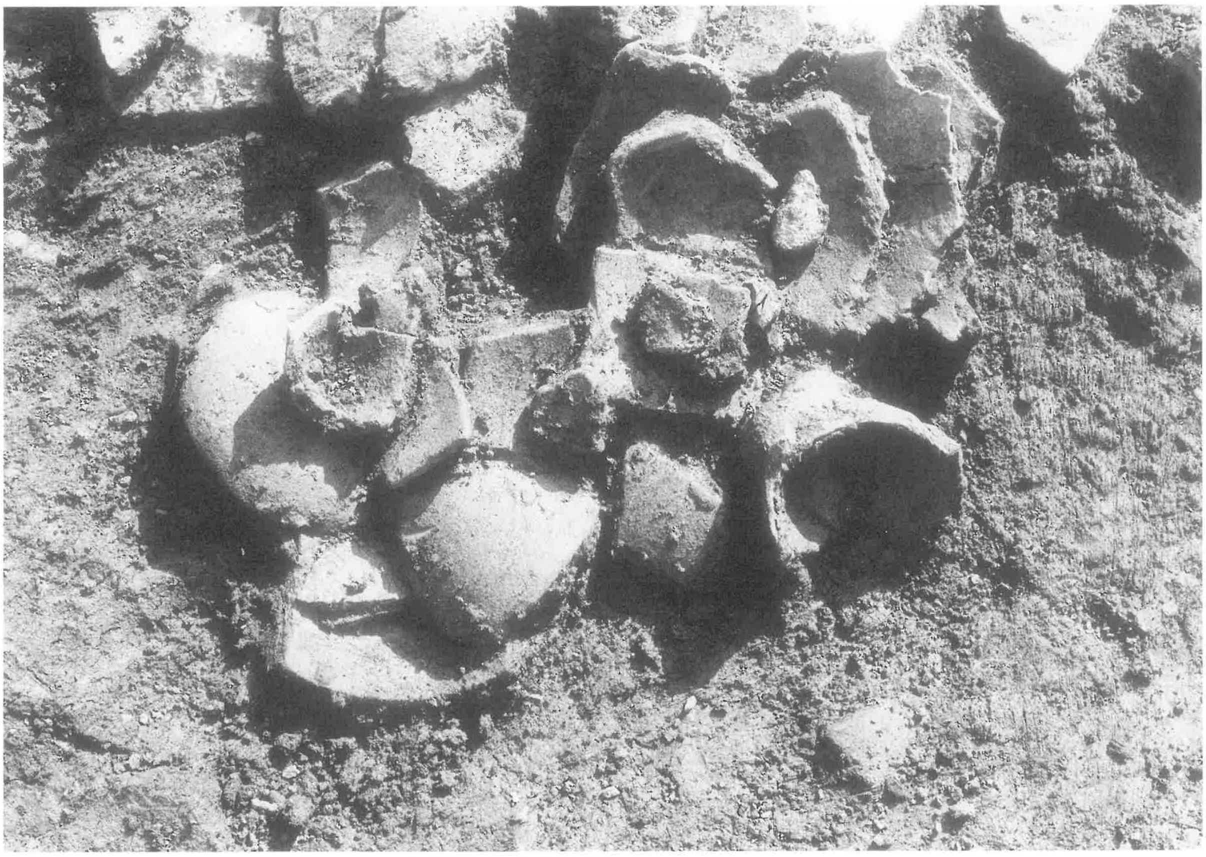
２、ＳＤ３Ｇ－５（東方から）２

１、ＳＤ３Ｇ－６（東方から）１

２、ＳＤ３Ｇ－６　２

図版第36　第３グリッド（４）

１、ＳＫ３Ｇ－１における壺（３－１）の出土状態

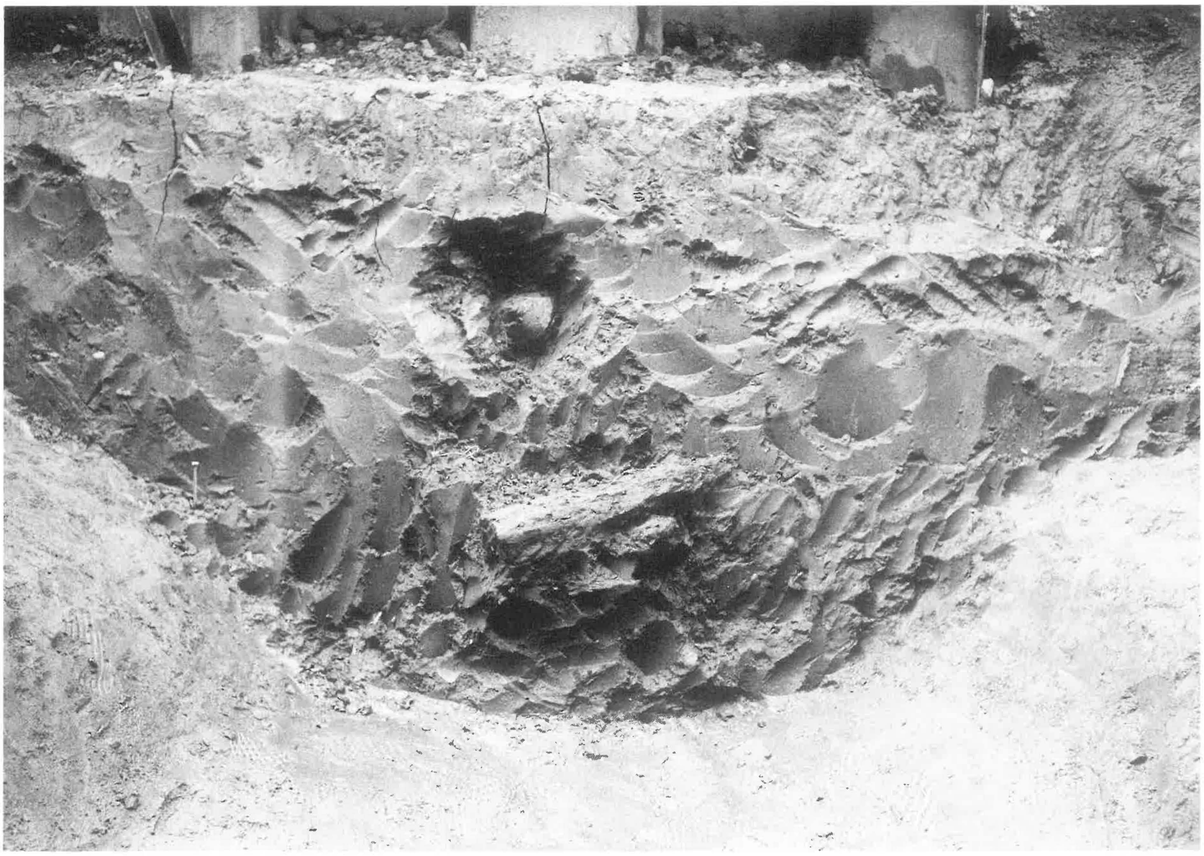


２、ＳＤ３Ｇ－５における土器の出土状態　１

１、ＳＤ３Ｇ－５における土器の出土状態　２

２、ＳＤ３Ｇ－５における土器の出土状態　３

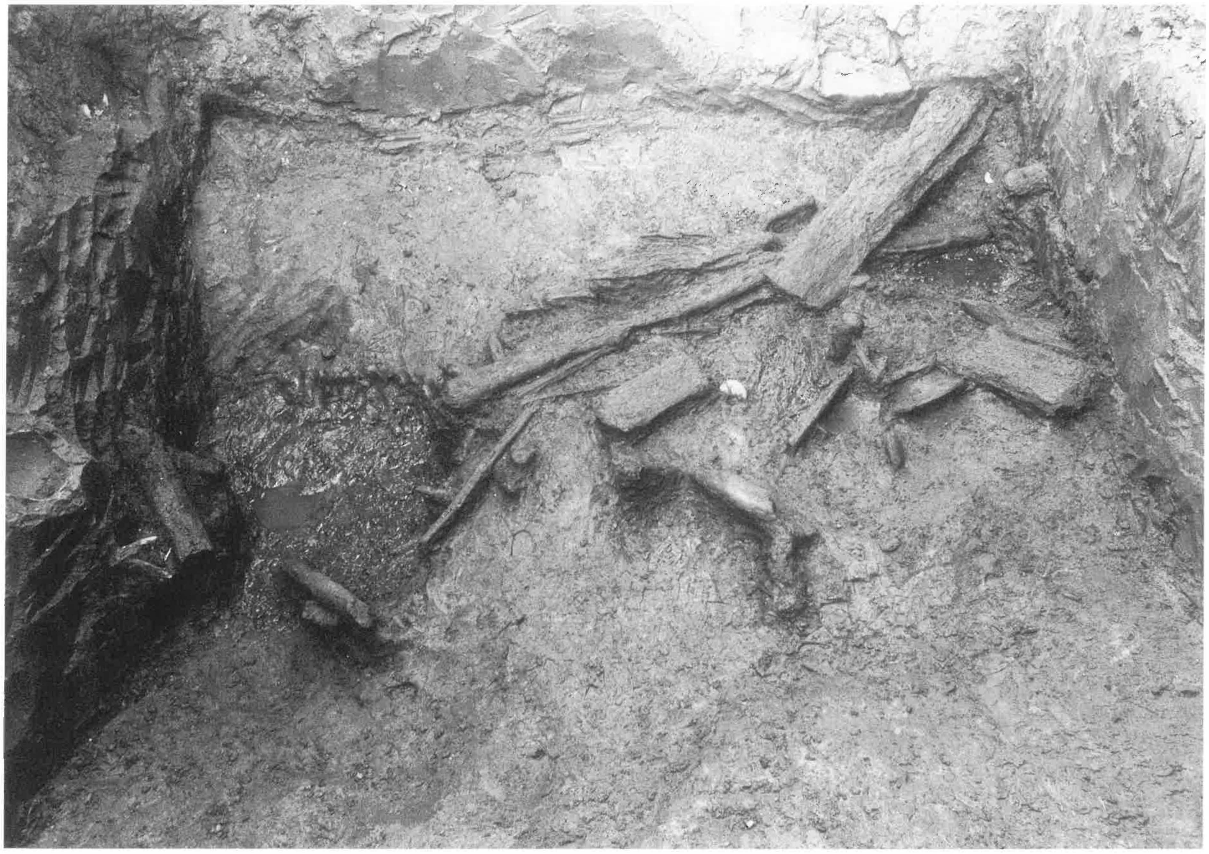
図版第38　第４グリッド（１）



１、東壁Ｂ－Ｄ断面におけるＳＤ４Ｇ－１

２、遺物取り上げ後のＳＤ４Ｇ－１

１、ＳＤ４Ｇ－１底部における木器・木材の出土状態　１



２、ＳＤ４Ｇ－１底部における木器・木材の出土状態　２

図版第40　第４グリッド（３）

１、ＳＤ４Ｇ－１底部における木器・木材と壺（４－11）の出土状態　１

２、ＳＤ４Ｇ－１底部における木器・木材と壺（４－11）の出土状態　２

１、ＳＤ４Ｇ－１底部における木材と竪杵（５）の出土状態　１

２、ＳＤ４Ｇ－１底部における木材と竪杵（５）の出土状態　２

図版第42　第４グリッド（５）

１、竪杵（5）の握部

２、小形丸木舟（1）の出土状態

1、槍形木器（6）と木製高杯（29）の出土状態

2、木製高杯の出土状態

図版第44　第４グリッド（７）

１、壺（４－11）と加工木材の出土状態　１

２、壺（４－11）と加工木材の出土状態　２

1、1－7

2、1－39

3、1－40

4、1－116

5、1－121

6、1－216

図版第46　土器（２）

１、１－217

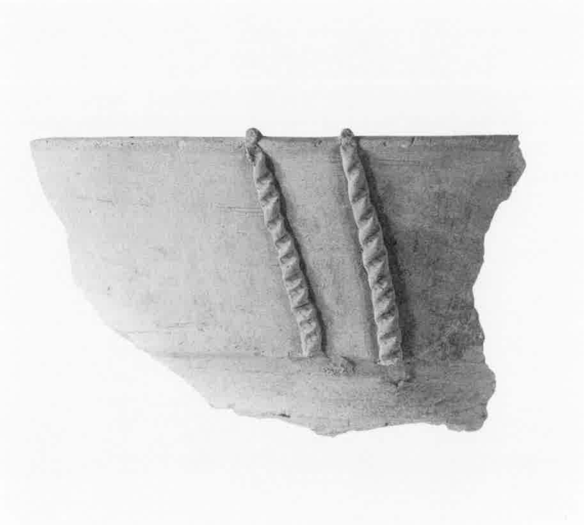
２、１－218

３、１－219

４、１－220

５、１－223

６、１－224



1、1－241

2、1－260

3、1－278

4、1－556

5、1－567

6、1－568

図版第48　土器（４）

1、１－580

2、１－586

3、１－587

4、１－604

5、１－606

6、２－84

1、2－86

2、3－11

3、3－29

4、3－32

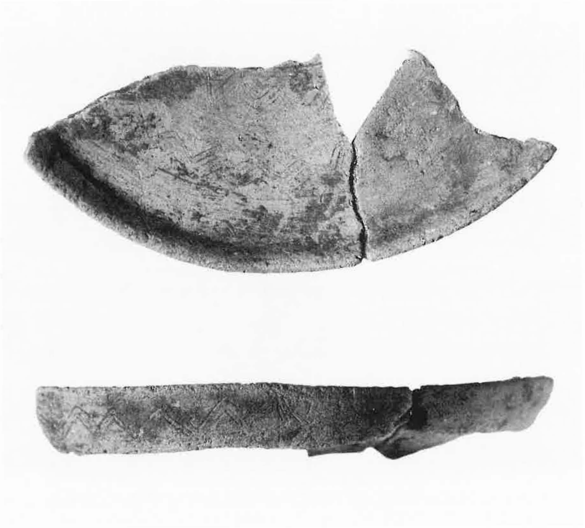
5、3－47

6、3－55

図版第50　土器（６）

１、３－72

２、３－101



３、３－103

４、３－123

５、３－136

６、３－150

1、3－162

2、3－169

3、3－180

4、3－181

5、3－194

6、3－196

図版第52　土器（８）

１、３－197

２、３－220

３、３－223

４、３－229

５、３－230

６、３－231

1、3－232

2、3－233

3、3－234

4、3－242

5、3－260

6、3－263

図版第54　土器（10）

1、3－266

2、3－296

3、3－304

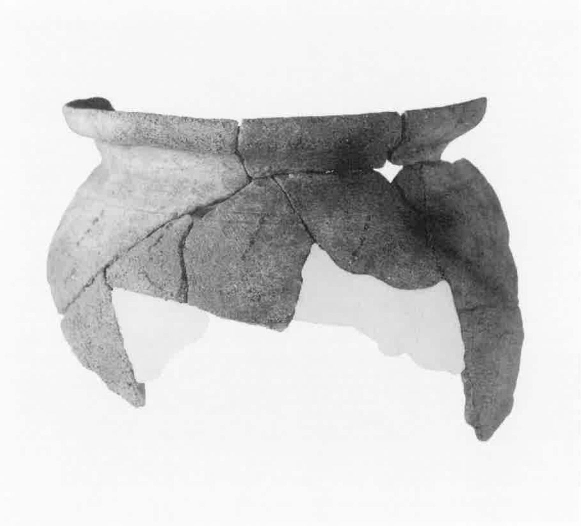
4、3－316

5、3－295

6、3G－8

1、3G—48

2、3G—62


3、3G—80

4、3G—87

5、表—1

6、表—3

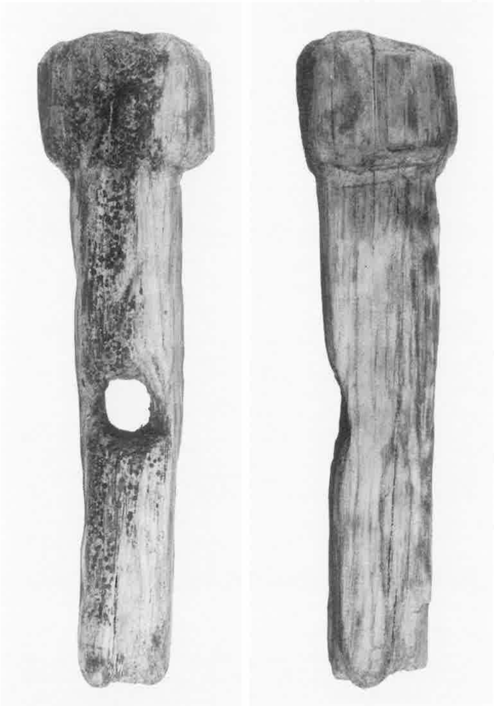
図版第56　木製品（1）

1、竪杵（5）

2、高杯（2）

図版第57　木製品（２）

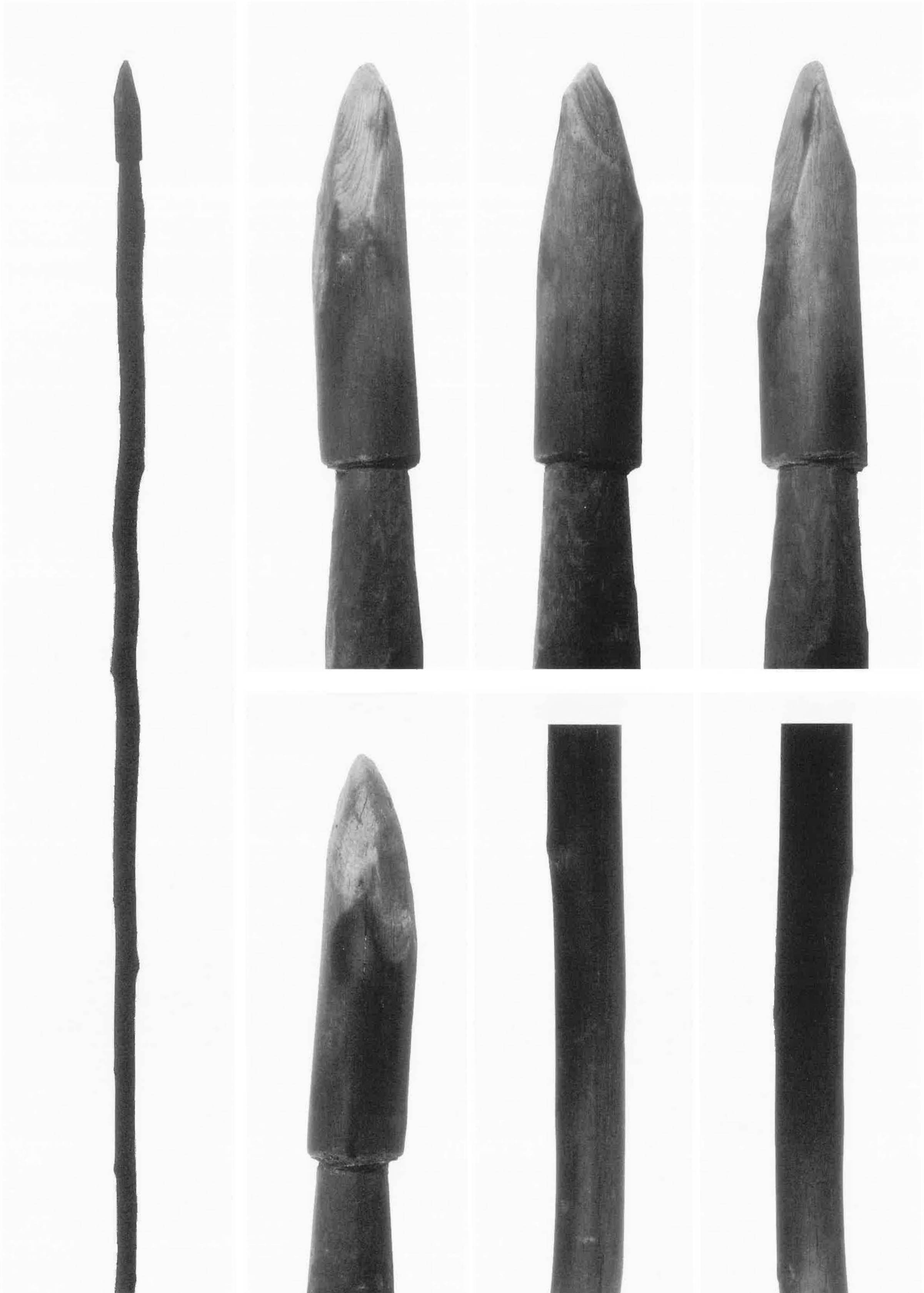
1、小型丸木舟（1）



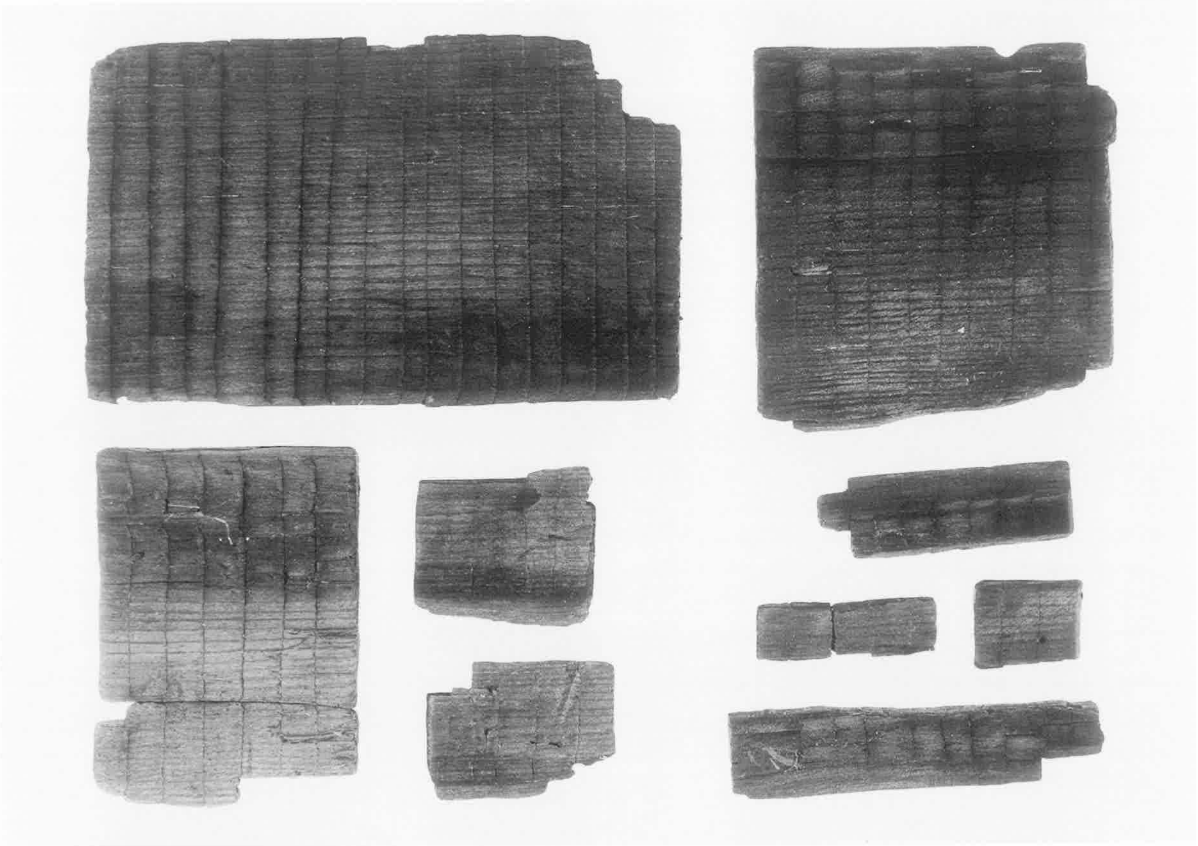
2、柄状木製品（4）

3、不詳木製品（3）

図版第58　木製品（３）



１、槍形木製品（6）



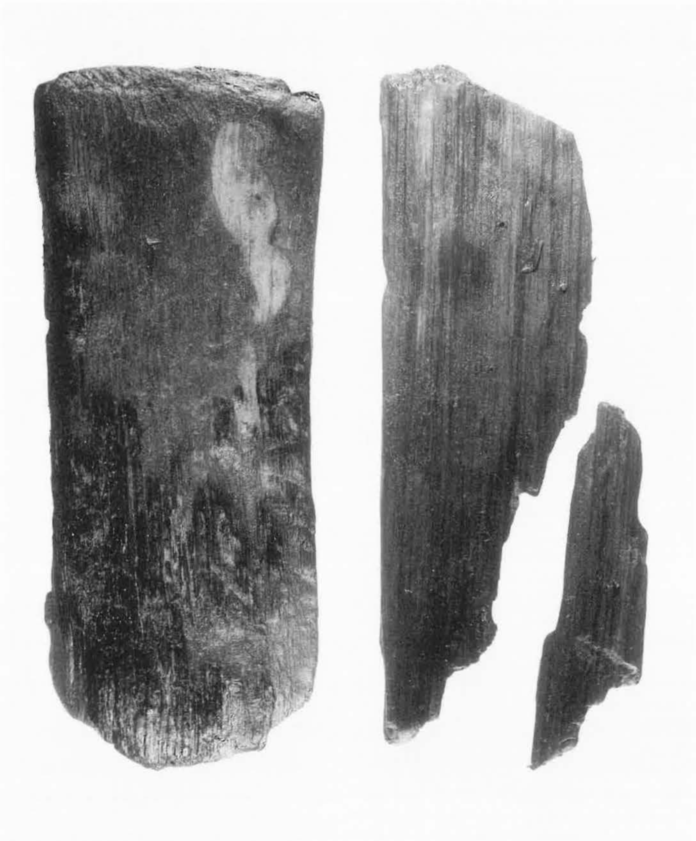
1、１Ｔ東部出土　曲物

2、ＳＫ２Ｇ－５出土木材

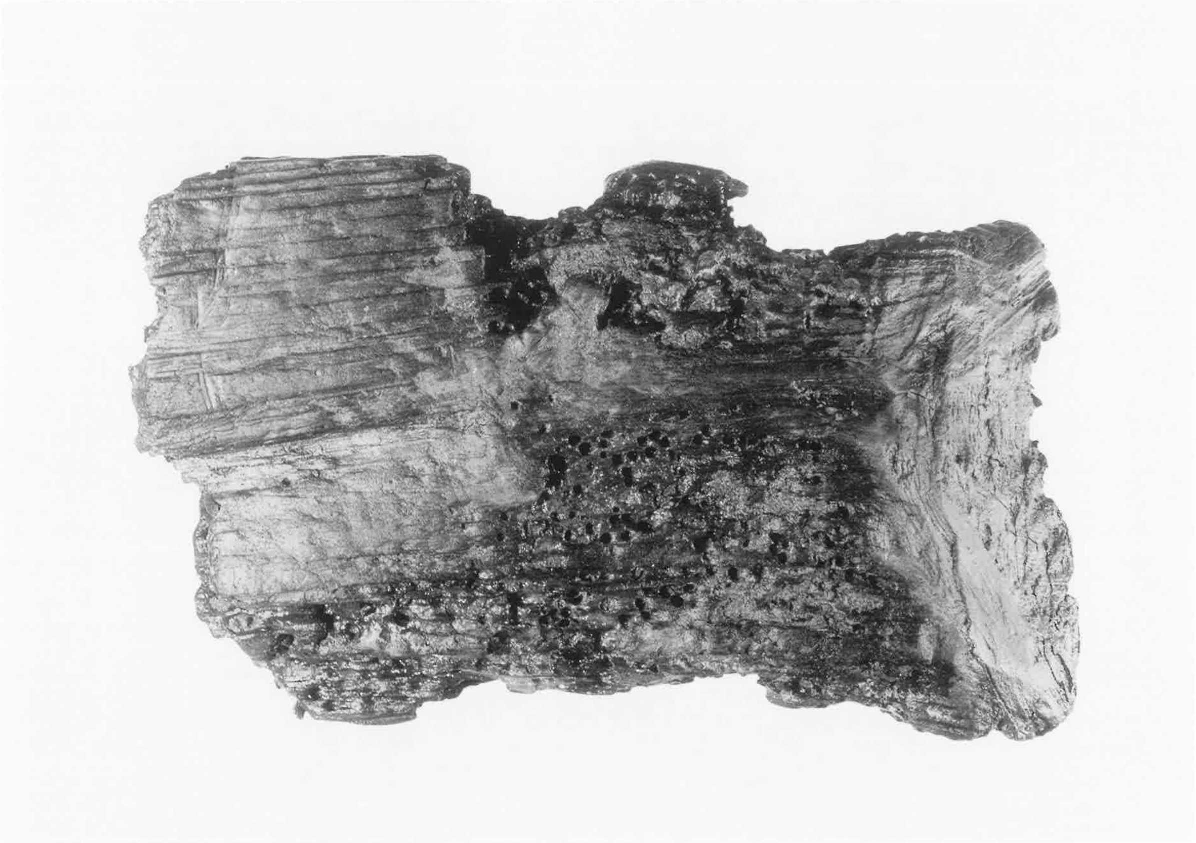
図版第60　加工木材（２）

1、ＳＤ３Ｇ－６出土木材

2、ＳＤ４Ｇ－１出土木器未完成品（8）



3、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　1



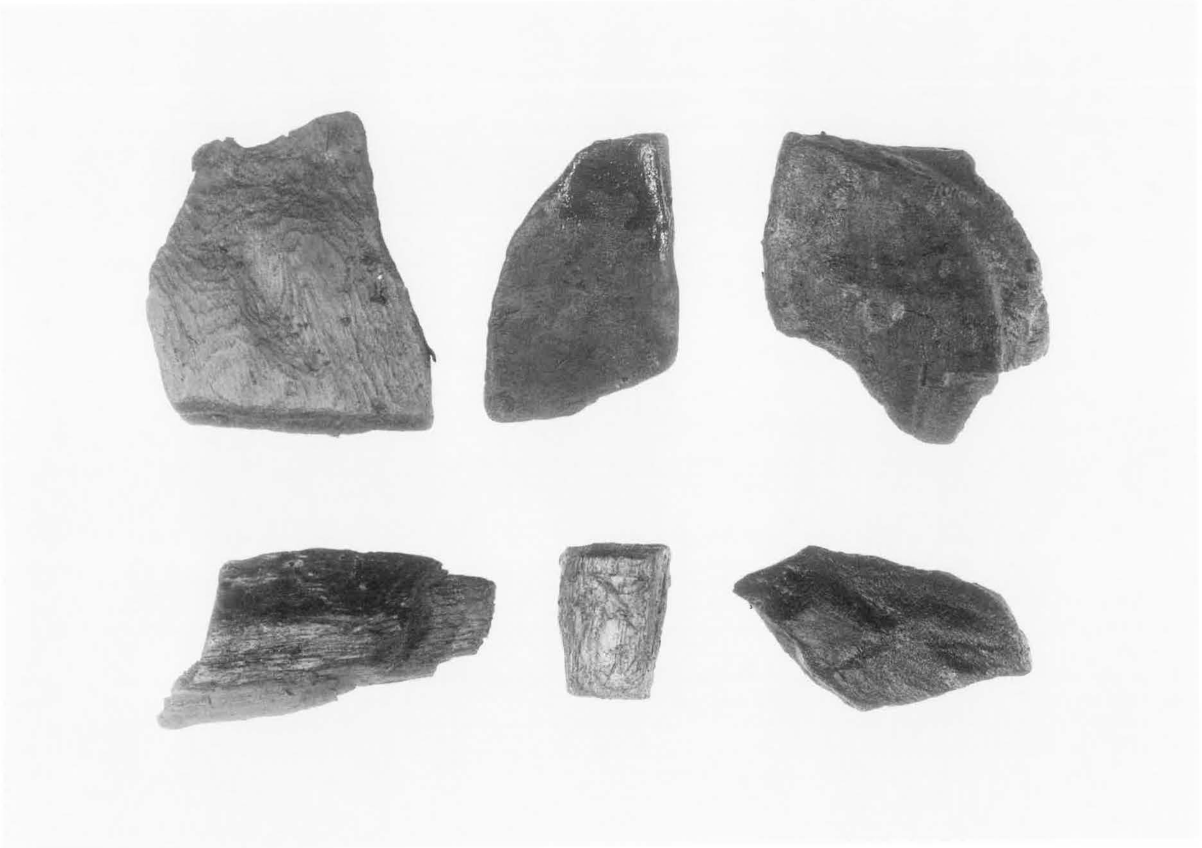
１、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　２

２、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　３

図版第62　加工木材（４）

１、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　４

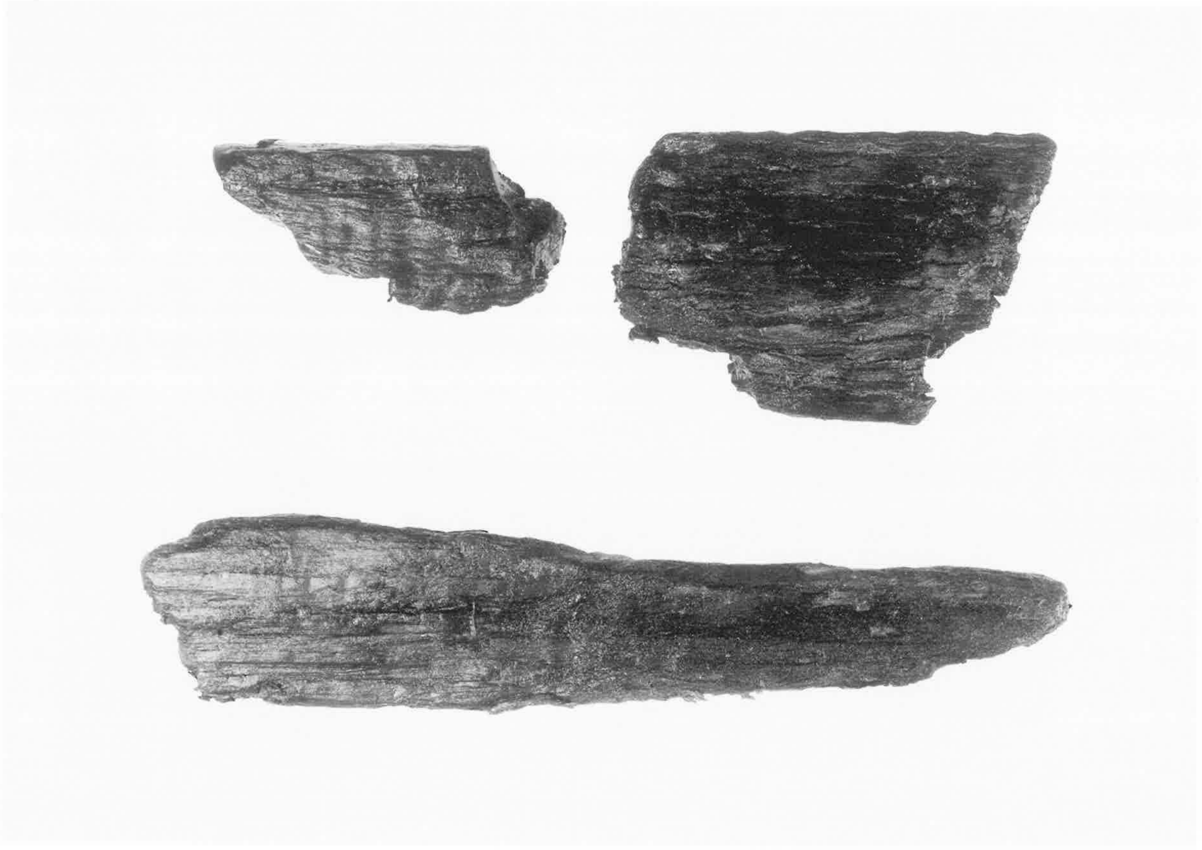
２、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　５



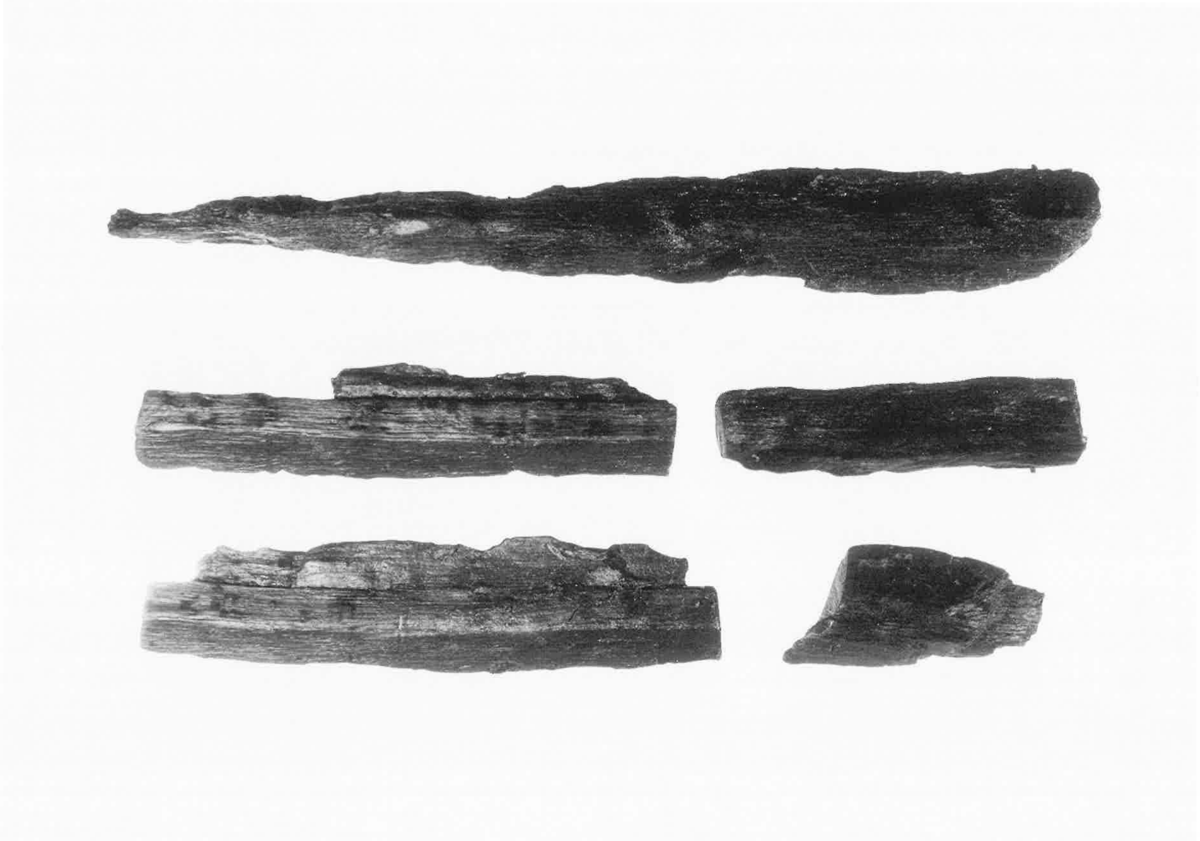
1、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　6

2、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　7

図版第64　加工木材（６）

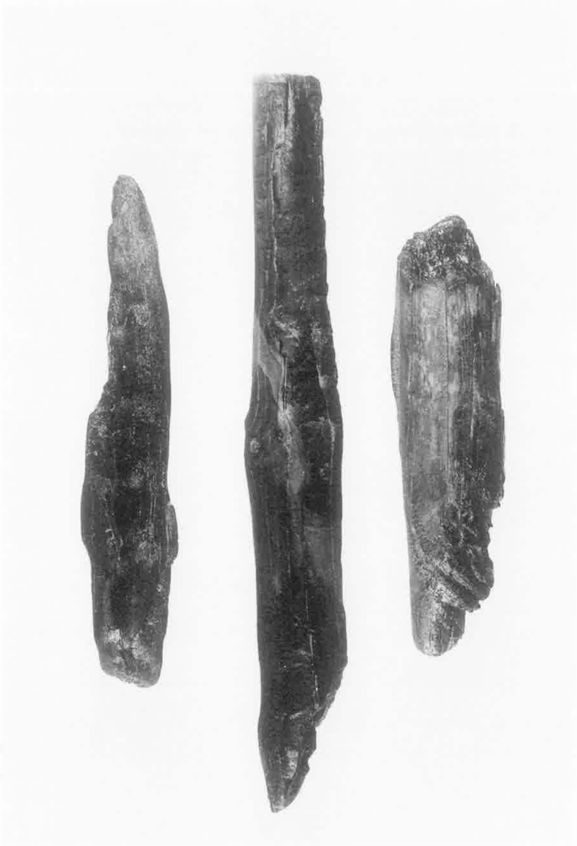


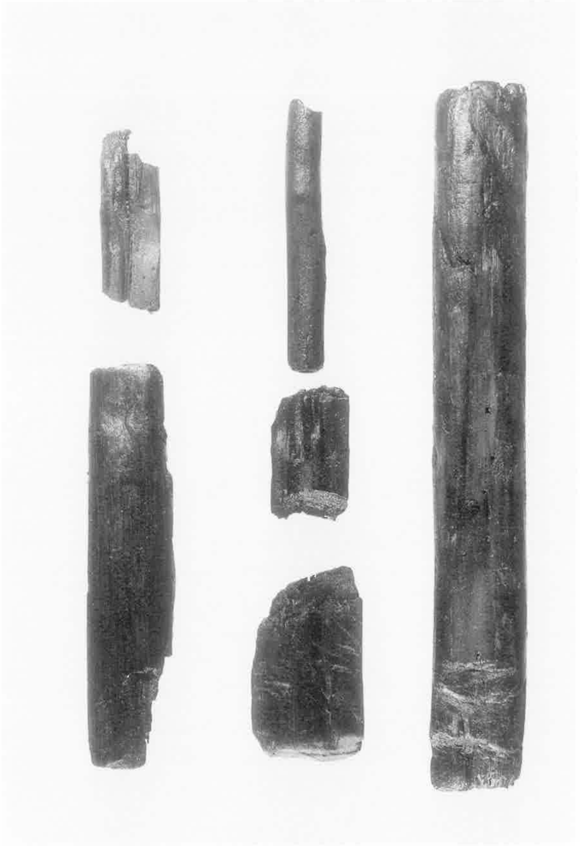
１、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　8



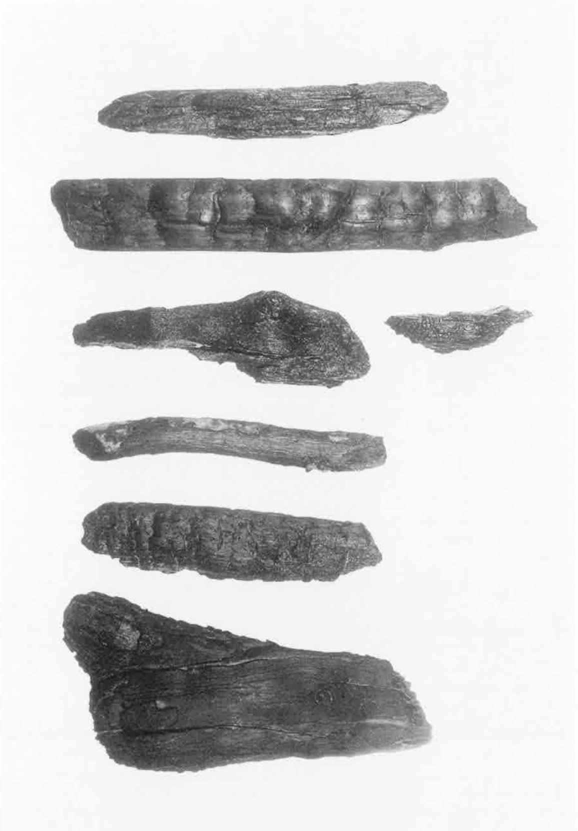
２、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　9

図版第65　加工木材（７）


1、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　10


2、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　11

3、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　12


4、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　13

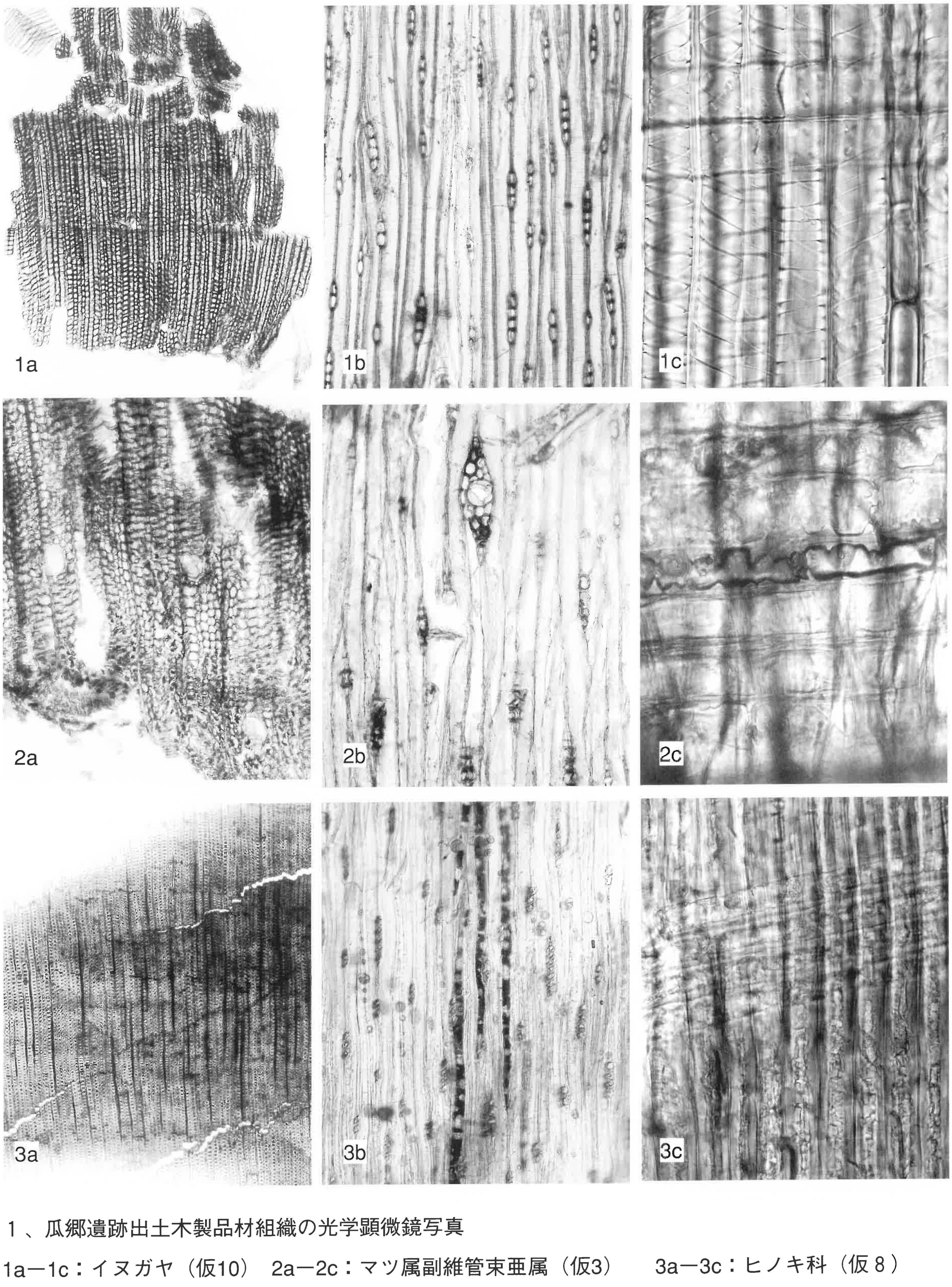
図版第66　加工木材（８）・瓢箪

１、ＳＤ４Ｇ－１出土木材　14

２、ＳＤ４Ｇ－１出土瓢箪

図版第67　木材組織写真（１）

bar：



１、瓜郷遺跡出土木製品材組織の光学顕微鏡写真

1a—1c：イヌガヤ（仮10）　2a—2c：マツ属副維管束亜属（仮3）　3a—3c：ヒノキ科（仮８）

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面　bar：a＝1.0㎜，　b＝0.4㎜，　c＝0.1㎜.

図版第68　木材組織写真（2）

1、瓜郷遺跡出土木製品材組織の光学顕微鏡写真

4a―4c：クリ（仮1）　5a―5c：クスノキ（仮3）　6a：広葉樹（仮９）　7a・7b：針葉樹（仮2）

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面　bar：a＝1.0㎜，　b＝0.4㎜，　c＝0.2㎜.

1、打製石鏃（1）

2、打製石鏃（2）

3、磨製石鏃（3）

4、磨製石鏃（4）

5、磨製石鏃（５）

6、刻器（6）

7、刃器（11）

8、刃器（8）

9、刃器（10）

10、剥片（7）

11、石核（9）

12、石錘（21）

図版第70　石製品（２）

1、磨製石包丁（12）

2、磨製石包丁（13）

3、磨製石包丁（14）

4、磨製石包丁（15）

5、磨製石斧（16）

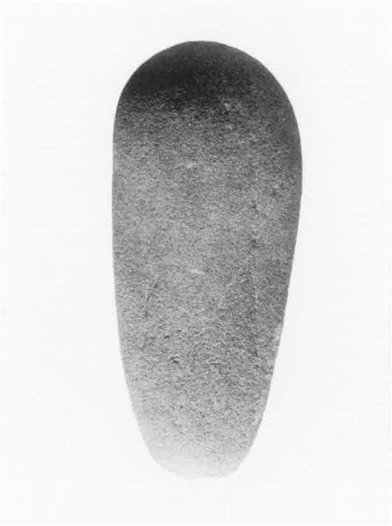
6、磨製石斧（17）

1、磨製石斧（18）

2、鼓石（22）

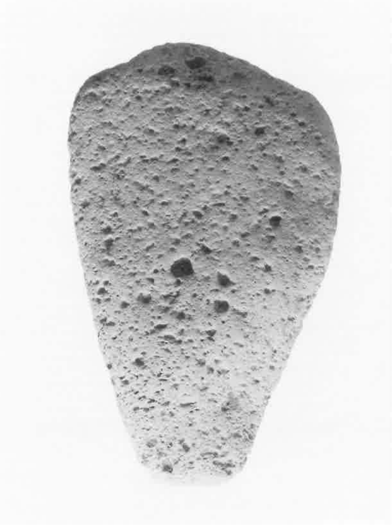
3、鼓石（23）

4、鼓石（25）


5、鼓石（26）

6、鼓石（28）

7、鼓石（29）


8、鼓石（30）

9、鼓石（31）

図版第72　石製品（４）

1、鼓石（24）

2、鼓石（32）

3、鼓石（33）

4、鼓石（27）

5、鼓石（34）

6、鼓石（35）

7、鼓石（36）

8、鼓石（37）

9、鼓石（38）

1、敲石（39）

2、砥石（20）―1

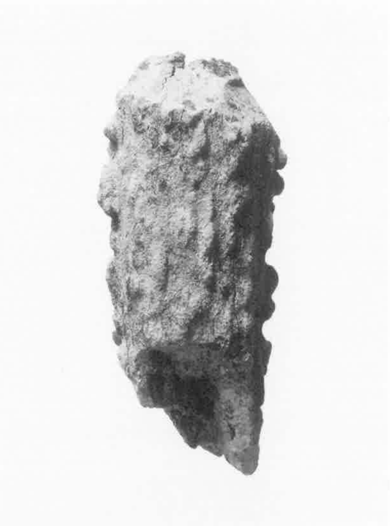
3、砥石―2

4、砥石―3

5、砥石―4

6、砥石―5

7、砥石―6



8、切削痕のある鹿角（1）

9、骨針（2）

付載　瓜郷遺跡出土のイノシシ頭蓋骨

西本　豊弘

瓜郷遺跡第１トレンチＳＫ－93からイノシシ類の頭蓋骨が１点出土した。その資料が、野生のイノシシか家畜のブタであるかを尋ねられたので、ここに所見をまとめた。このイノシシ頭蓋骨は、骨質は硬いが切歯骨部分が欠損しており、頭蓋骨上面は大きく壊れて失われていた。歯は、左側が第３前臼歯から第３後臼歯まで、右側が第２前臼歯から第３後臼歯まで残っていた。歯の摩耗はかなり進んでおり10歳前後の壮年であろう。犬歯は左右ともに失われていたが歯槽部の形から見て雄獣である。頭蓋骨全体の大きさは分からないが、残存部分から見て比較的小型のイノシシである。

さて、この頭蓋骨の上面観は、頬骨弓の後部が外に強く張り出して丸みを帯びている。この特徴は、一見すると家畜化現象のように見えるが、頭蓋骨の側面観を見ると後頭部が高くなる家畜化に伴う短頭化現象は見られない。むしろ、眼窩の上部が少し丸みを帯びるという老齢の野生イノシシ雄獣の特徴がみられる。このことから、頬骨弓の丸みは、おそらく雄獣の加齢に伴うものであろう。

次に歯の形態を見ると、大きいことが特徴である。また第１・２後臼歯は四角く、野生イノシシとして普通の形態であり、家畜化に伴う歯の変形は認められない。歯根部周辺の上顎骨に歯周症による病変も認められない。これらの所見から、この資料は野生イノシシの雄の成獣と推測される。

なお、最初に述べたように、この頭蓋骨の頭頂部は欠損している。その破損状況を見ると、頭蓋骨の側面が壊れないように上部のみが壊されている。破損部分の後端は円弧をなすが、ひび割れが入っており、骨が生の状態で叩き割られたと思われる。また、左側眼窩の後部近くの前頭骨上面に２条の切り傷が見られたが、この傷は前頭骨を刳りぬく時の傷であろう。おそらく、脳髄を取り出して食料にするためか皮なめしに利用するために壊したのであろう。また、頭蓋骨全体の形態を壊さないように丁寧に処理をしていることから、何らかの儀礼的扱いを受けた可能性が高い資料である。

付表第１、上顎歯と頭蓋骨の主要計測値（単位mm）

	長さ	前幅	中央幅	後幅
右第２前臼歯	12.7±		7.4	
右第３前臼歯	12.1			9.6
右第４前臼歯	12.8		13.0	
右第１後臼歯	14.2±	13.2		13.9
右第２後臼歯	19.3	18.1		17.2
右第３後臼歯	33.9	20.2		
第２・３後臼歯間での上顎骨幅　71.8				
頬骨弓幅(Zy～Zy)　153.7				
前頭骨最大幅(Ect～Ect)　102.6				
後頭骨最大幅　84.6				

注：歯の計測値で±のある数値は、摩耗の著しい歯で、推測値である。

付図版第１　第１トレンチＳＫ－93出土猪の頭骨

報告書抄録

ふりがな	うりごう
書名	瓜郷（Ⅱ）
副書名	
巻次	
シリーズ名	豊橋市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第93集
編著者名	芳賀　陽・西本豊弘
編集機関	豊橋市教育委員会生涯学習部美術博物館
所在地	〒440－0801　愛知県豊橋市今橋町3番地の1豊橋市美術博物館　TEL0532-51-2879
発行年月日	西暦2007年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うりごういせき 瓜郷遺跡	とよはししうりごうちょう 豊橋市瓜郷町 よりみち 寄道他	23201	79780	34° 46′ 55″	137° 22′ 45″	19820721 ～19830321	310㎡	下水道の 設置

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
瓜郷遺跡	集落址	弥生～古墳	土壙・溝	弥生式土器 古式土師器 木器・石器	

豊橋市埋蔵文化財調査報告書第93集

瓜郷（Ⅱ）

2007年３月31日

発　行　豊橋市教育委員会
生涯学習部美術博物館
〒440-0801　豊橋市今橋町３番地の１

印　刷　共和印刷株式会社